



Business Report

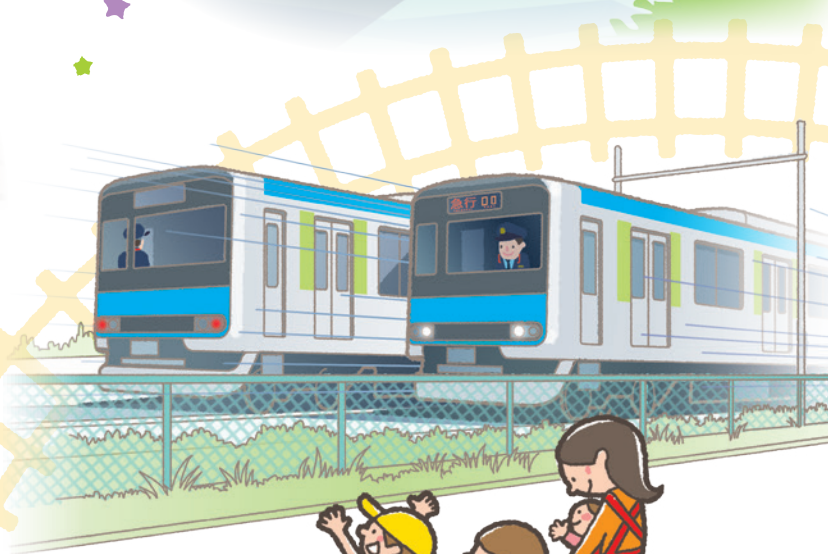
第199期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



東武鉄道株式会社

証券コード：9001



株主の皆様へ、 東武グループの概況について ご説明いたします。

取締役社長 根津嘉澄



Q1 当期の業績について教えてください

A1 株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループでは、グループの新たな成長へ向けて、長期的な視点から「経営の基本的な方向性」等を示した「長期経営構想」と、これにもとづく4か年の具体的な取組みを示した「中期経営計画」にもとづき、当社グループの持続的な成長に向けた投資を積極的に推進するとともに、財務健全性を堅持しつつ、株主還元の一層の充実をはかってまいりました。

当期の連結業績は、営業収益は6,175億43百万円（前期比8.4%増）、営業利益は672億95百万円（前期比1.0%増）、経常利益は629億72百万円（前期比1.1%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、子会社の事業再編にともない保有する土地等の固定資産に係る減損損失を計上したことにより280億24百万円（前期比22.2%減）となりました。

Q2 期末配当について教えてください

A2 当社は、長期にわたる経営基盤拡充のため、財務健全性を堅持し、業績と経営環境を総合的に勘案しながら、安定配当を継続することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、1株あたり17円50銭に決定させていただきました。

なお、次期の年間配当金につきましては、中期経営計画の順調な進捗が見込まれることから5円増配し、1株あたり40円（中間配当金20円及び期末配当金20円）を予定しております。

Q3 今後の取組みについて教えてください

A3 当社グループは、これまで鉄道事業や各事業を通じて、街と街、人と街、鉄道ネットワークを活用した相互直通運転、そして各社の協力を得て実現したSL復活運転事業等、たくさんの「つなぐ」で沿線発展の一端を担ってまいりました。これからも「つなぐ」を「惹きつける力」と「稼ぐ力」へと進化させ、定住人口の増加と交流人口の拡大による地域の活性化と沿線の価値向上を目指してまいります。

現在取り組んでおります「東武グループ中期経営計画2017～2020」においては、将来に向けた成長への投資や新たな収益源の開拓を積極的に推進し、企業価値の向上をはかるべく、各施策を着実に推進するとともに、財務健全性を堅持しつつ、株主還元の一層の充実をはかってまいります。

2019年度においては、鉄道事業における東武アーバンパークラインの複線化による急行運転の拡大や日比谷線直通ライナー導入に向けた車両新造の推進により利便性の向上をはかるとともに、ホームドア設置や連続立体交差事業の推進等の安全投資を実施いたします。また、これまで行ってきた住宅開発に加え、子育てに優しい賃貸住宅、保育施設の誘致をすすめるほか、ターミナル駅や主要駅における駅ビル建設、商業施設のリニューアル工事を推進し、駅の拠点性を高めるなど、沿線開発の深耕により豊かな沿線生活環境の整備をはかり、多くの人を惹きつける「住みたい・住み続けたい沿線づくり」に向けた取り組みを実施してまいります。さらに、ザ・リッツ・カールトン日光やACホテル・バイ・マリOTT東京銀座をはじめ、観光・ビジネス需要に応える新たな5ホテルの2020年度オープンに向けた建設並びに開業準備を進め、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックを契機とするインバウンドの受け入れ態勢をグループ全体でさらに強化するとともに、浅草・東京スカイツリーや日光・鬼怒川をはじめ、沿線の魅力を最大限高め交流人口のさらなる拡大をはかり、「訪れたい・また行きたい沿線づくり」を推進することで、収益の拡大に努めてまいります。

当社グループは、「東武グループ経営理念」、「東武グループ経営方針」のもと、さらなる企業価値向上へ向け、総力をあけて取り組んでまいりますので、株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東武グループ経営理念

東武グループでは、「奉仕」「進取」「和親」を経営の拠り所としています。

「奉仕」

東武グループは、東武グループの全ての事業が社会に支えられていることを深く自覚し、豊かな社会の実現に貢献します。

「進取」

東武グループは、現状に甘んじることなく、常に研鑽に励み、時代を切り開く開拓者精神をもって新たな挑戦を続けます。

「和親」

東武グループは、人の和や環境との調和をもとに事業の発展と従業員の幸福を図り、社会の進展に寄与します。

東武グループ経営方針

お客様の暮らしに密着した事業を通じて沿線地域の発展に貢献する企業グループとして、安全・安心を根幹に「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」等の事業を多角的、複合的に展開します。

お客様の視点に立ち、質の高い先進性や独創性あふれるサービスを提供し、活力に富んだ暮らしやすく訪れたい東武沿線の実現を目指します。

事業を通じて安定的に利益を創出しながら、環境にも配慮した経営を進め、お客様の生活を担う企業グループとして地域社会とともに持続的に発展することにより、企業の社会的責任を果たします。

CLOSE-UP!

「東武グループ中期経営計画」の推進状況

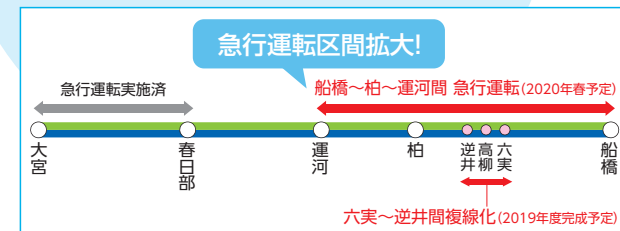
同計画のもと、将来に向けた成長への投資や新たな収益源の開拓を積極的に推進しております。このたびは、2019年度における取組みの一部を紹介いたします。

また、(株)東武ストアを連結子会社化したこと等により増益が見込まれるため、2020年度の経営指標の目標数値を修正いたしました。

● 快適な通勤環境の実現へ



日比谷線直通列車に有料着席サービスを新たに導入します。



東武アーバンパークライン 六実～逆井間の複線化により、急行運転区間を拡大します。

● 訪れたい・また行きたい沿線の実現へ



浅草～東京スカイツリー間において、隅田川橋梁歩道橋の整備や高架下の商業開発を進め、エリアの活性化をはかります。



2020年度オープンに向けて、5つのホテルの開業準備を進めています。



● 住みたい・住み続けたい沿線環境の実現へ

子育てしやすい沿線環境づくりに向けて、ベビーシッターサービス等を備えた賃貸マンションの建設を進めております。



連結経営指標 2020年度

目標経営指標	見直し前	見直し後
営業利益(億円)	675	685
親会社株主に帰属する当期純利益(億円)	386	400

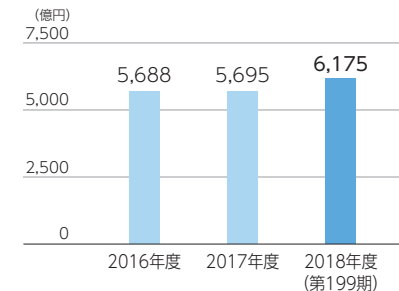


連結決算の概要

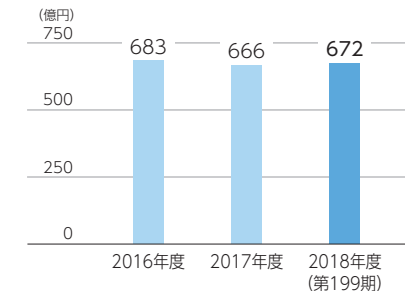
2018年度決算のポイント

- ✓ 天候不順の影響等によりレジャー事業が減収となったものの、鉄道業における「SL大樹」営業運転の通年効果や川越エリアへの順調な観光輸送等に加え、流通事業における(株)東武ストアの連結子会社化が寄与し、営業収益は、前期比480億円増の6,175億円となりました。
- ✓ 営業利益は、鉄道業やバス・タクシー業における動力費・燃料費の高騰や、(株)東武ストアの株式取得関連費用計上等があったものの営業収益の増加により前期比6億円増の672億円、経常利益は、前期比6億円増の629億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、子会社の事業再編にともない保有する土地等の固定資産に係る減損損失を計上したことにより前期比80億円減の280億円となりました。
- ✓ 総資産は、有形固定資産の取得により前期末比249億円増の1兆6,431億円、負債は、高架化工事の進捗による自治体からの前受金が増加したこと等により前期末比162億円増の1兆1,739億円、純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により前期末比86億円増の4,692億円となりました。

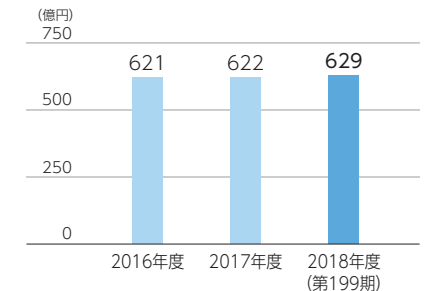
営業収益



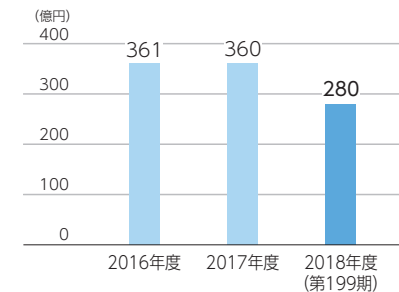
営業利益



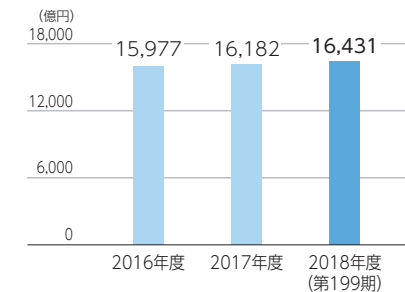
経常利益



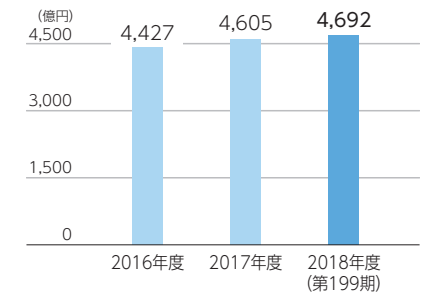
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産



※ 本ページ記載の金額につきましては、すべて記載単位未満を切り捨てて表示しております。



株主様へのご案内

株主優待乗車証

ご所有の株式数に応じまして、株主優待乗車証を発行いたします。



株式数	乗車証の種類	発行枚数		
		9月末(基準日)	3月末(基準日)	
100株以上 200株未満	回数券 ^{※1}	—	2枚	1,000株以上を3年間以上継続して保有いただいている株主様へのご優待 ^{※3} (半年につき)
200株以上 600株未満	回数券	2枚	2枚	
600株以上 1,000株未満	回数券	6枚	6枚	
1,000株以上 2,000株未満	回数券	10枚	10枚	
2,000株以上 3,000株未満	回数券	20枚	20枚	
3,000株以上 4,000株未満	回数券	30枚	30枚	回数券 4枚
4,000株以上 5,000株未満	回数券	40枚	40枚	
5,000株以上 5,800株未満	回数券	50枚	50枚	
5,800株以上 11,600株未満	定期券 ^{※2}	1枚	1枚	
	定期券	1枚	1枚	
11,600株以上	回数券	50枚	50枚	回数券 10枚

※1 1枚1乗車有効の電車全線優待乗車証(回数券式)

※2 電車全線優待乗車証(定期券式)

※3 当社の株主名簿において、過去3年間の全ての基準日(当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日))に1,000株(株式併合前の2017年9月以前の基準日においては5,000株)以上の株式を継続して保有し、株主番号が継続して同一である株主様に対し、過去3年間の基準日に保有していた最小株式数に応じて追加発行いたします。

株主ご優待券

ご所有の株式数が100株以上の株主様に、株主ご優待券を発行いたします。



東武グループ各施設等でご利用いただけます。(一例)

無料 東武動物公園	発行枚数(半年につき)	
入園料 無料	3枚	
ライドバス(のりもの乗り放題券) 500円割引	3枚	
割引 日光アストリアホテル「龍頭乃湯・龍乃湯・森乃精」	発行枚数(半年につき)	
入浴料の割引	4枚	
●大人(中学生以上) … 500円割引 ●小人(6歳以上) …… 200円割引		
割引 東武百貨店(池袋・船橋・宇都宮・大田原・栃木市役所)	発行枚数(半年につき)	
お買物代金の割引 5%割引	8枚	

※ 株主ご優待券につきまして、100株以上200株未満ご所有の株主様に対しては、年に1回、3月末基準日分のみ発行いたします。

※ 株主ご優待券のご利用にあたりましては、お手元の株主ご優待券の記載事項をご確認ください。

※ 株主優待乗車証・株主ご優待券の有効期限につきましては、原則、6月発行分(資格確定3月31日)は12月末まで、12月発行分(資格確定9月30日)は翌年6月末までです。

株主様向け施設見学会のご報告



東武博物館の概要説明



学芸員による館内展示物の説明



SL運転席の見学、ナッパ服・機関士帽を着用しての記念撮影



東武鉄道の歴史や成り立ちがよく分かった。



新たな株主優待制度をご紹介します!!

ご利用対象店舗 (2019.6.1現在)

お近くの店でご利用ください!!

東武ストアでのお買物 1,000円につき100円割引 10枚!

フレッシュ&クイック曳舟店 オープン!!

できたての惣菜や、コンビニでは取り扱わない生鮮品を揃えるとともに、駅近くの立地を活かし、お気軽にお買物していただける新業態店舗の1号店をオープンしました!

谷川岳ロープウェイ 往復料金 10%割引 5枚

谷川岳ロープウェイ(株) 飯塚さん

日本百名山「谷川岳」の雄大さ、四季折々の景観をお楽しみください!

秋には紅葉も!

※ 株主ご優待券のご利用にあたりましては、お手元の株主ご優待券の記載事項をご確認ください。
※ 本ページ記載の発行枚数につきましては、半年につき発行する枚数です。

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号 東武鉄道株式会社
設立年月日 1897年11月1日
本店所在地 東京都墨田区
押上一丁目1番2号
資本金 1,021億3,597万1,747円
従業員数 3,510名
発行可能株式総数 4億株
発行済株式の総数 2億1,231万3,621株
株主数 6万4,968名
事業内容 ① 鉄道事業
② 不動産事業
③ その他の事業

役員 (2019年3月31日現在)

【取締役】
代表取締役社長 根津 嘉澄
代表取締役 角田 建一
取締役 三輪 裕章 関口 幸一
小野寺 敏明 小櫨山 隆
山本 勉 柴田 光義
安藤 隆春

【監査役】
常勤監査役 中嶋 直孝 豊田 郁夫
監査役 正田 修 茂木 友三郎
小林 喬

【執行役員】
社長執行役員 根津 嘉澄
副社長執行役員 角田 建一
専務執行役員 三輪 裕章 関口 幸一
小代 晶弘
常務執行役員 都筑 豊 横田 芳美
小野寺 敏明 小櫨山 隆
山本 勉
執行役員 大熊 康義 大塚 博哉
吉田 辰雄 丸山 真人
丹羽 茂美 鈴木 熊野
宮田 浩 吉野 利哉

株主メモ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
配当金受領株主確定日 期末配当金 毎年3月31日／中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
公告の方法 電子公告
<http://www.tobu.co.jp/>

定時株主総会に関するご報告

2019年6月21日に開催いたしました当社第199期定時株主総会の決議結果につきましては、当社ホームページに掲載しております。

東武 株主総会

検索

<http://www.tobu.co.jp/ir/meeting/>

株主様カレンダー(予定)

2019年

7月

8月

9月

10月

11月

12月

下旬
第1四半期
決算発表

30日
株主確定日
(基準日)

下旬
第2四半期
決算発表

上旬
配当金関係書類・
株主優待*・
中間報告書ご送付
※ 200株以上ご所有の株主様
に対してお送りいたします。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

株式の税務関係のお手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出等)において、株主様のマイナンバーが必要になりますので、口座のある証券会社へマイナンバーをお届ください。なお、証券会社とのお取引がない株主様は、三井住友信託銀行証券代行部(TEL.0120-782-031)にお問い合わせください。

東武鉄道 株式会社
〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号
TEL.03-5962-2067

※「東京スカイツリー」は、東武鉄道㈱及び東武タワースカイツリー㈱の登録商標です。



この印刷物は、視認性が高く読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
また、FSC®森林認証紙を用いて「森林資源の保全」に、植物油インキを用いて「大気保全」に配慮しています。くわえて印刷に使用した電力(960kwh)は、バイオマス発電によるグリーン電力により賄うとともに、環境に配慮した資材と工場で印刷しています。なお、印刷用の紙に再生できますので、不要になった際は古紙回収・リサイクルにお出ください。